

現代文學全集

38

現代

俳句

歌集

集

集



現代
現代
俳句
歌集
集

改
造
社
版

杉浦非水裝幀

明治天皇御製

心に人のふみえたるは思ふうなおのかほむろ

國はいうりご

橋田のはりちうければ水鳥のさわく羽おごを

きかぬおそなき

たらちねのみおやの御代に仕へにー人もおぼた
なぐれまよけり

思ふ事つらぬらむ世を待つはこの月日は長き
ものにそありけり

はからすもねをふうーけ王國のため命をすけ
いご紙かそへそ

家富みてあらぬことなき身なりとも人のつとめに
おこたらなゆゑ

いそのかみふろきためふし尋ねつゝわたらゝき世の
事もさたけじ

ともしひふきふろきまでわくや一人おこせふむ
読み尽るかな

つくさひぐみなひきあけて人こゝろのじうなる世の
またちりけり

みちか—とおもふるゑに冬の日はなうもの

はかごりにあま

朝ゆふにむらひなれたる方のそらはちけ

ものごとかな

國のた免いのちぶすて――ますらぶのたまはるへき

とせちうつにぬ

からとせをふあけてかへわらひくそ人まらうく足るか

うれしかりけむ

つかと人まうて――後のゆふまくれこゝろとつに

ふみむ足るかな

山ぬらゝくかくらゝいどを逃へても世を治むへき
みちがごはゝや

いさむある人のあどむも尋ねけりあつたの里乃
たひにいてつゝ

さまゝの事にあひは—おい人のむゝふかたりそ
身にはちゝけり

ひごりーそちつうにきけと聞くまたーけくちのゆく
能のこゑかな

もゝごせをへたる人哉も思つかなくちまごゝちう

ごご入

國をおもふおみたまごごは言の葉の上にあふれて

きこえけろくな

子爵入江為守謹書

昭憲皇太后御歌

はつ國をちりし御代のまうたよもたちうへりゆく

ごころゆたけさ

みかゝすは玉のひうりはひてさらむしひごのゑも

かくこそあら

ひとくみからま——はらまのまたまは火にも
やうれとまけり

鳥羽のうみのなみ風いってさわくらむなむならぬ
みゆきいとおもふに

かちひとの道のぬりむふむみれをまつ心なき
今日のあえうな

まつり事いごまあら日ごみそなはす梅にそあめも
こゝろそふれ

埋火のあたりのとけきまごめにはちたーからやろ
ひごなこのとけり

そてうきにさく朝うはのそひみそあくそけつろ
時のおくれぬ

ある人のわもうけうつす油壺にむかへはわれも
うちをまきつゝ

夢心のひろ燈せはしとつものならふを今や

みそなほそらむ

あまの川ほとけのあふせむそらこゝろあふまて

きはひらけり

あたらしくみやつとりせし九重の所かきの松より
つもろけきこう郷

月に日にひらけゆく世の人々あむうはむうたを
まつさたゑてよ

にひ衣そてせはあれもあ梅の実乃ひとつたよ
つみうねつ

むらきものころもにかろ雲もなきこよひそ月は
みるへりのちろ

たうけよてかすのにきし水の音はこの谷川の
なうれけりけり

みいくさのたよりいかにまたれもやうつせの
むのちなりけり